

このカタログを上手に使っていただくために

本カタログは「能力別インデックス」(p.3~p.5)をもとに、最適な機種を選定していただけるよう構成されています。機種ごとの掲載ページは、仕様、外観および取付寸法図、性能特性図などで構成されています。仕様については必ず下記の用語解説をご確認の上、機種選定を行ってください。

用語解説

コンプレッサ・真空ポンプの共通事項について

ACシリーズ・VPシリーズ・DAHシリーズ・DVHシリーズ・VCシリーズ・DPシリーズ・リニコン・ブロー

適用流体：空気

耐用時間：補修なし(フィルタの保守・点検は除く)で使用し、定格運転において、吐出空気量が仕様値の80%以下になるまでの作動積算時間。(目安)

※耐用時間(MTTF)と記載の場合、作動開始してから故障するまでの平均作動時間を示しています。

ただし、参考値であり保証値ではありません。お客様のご使用の状態により変わりますので、実機にてご評価の上で使用ください。

定格電圧：適正に作動する電圧

定格周波数：適正に作動する周波数

コイル絶縁階級：電気用品安全法により設定されたコイル温度限度(右表参照)

使用電圧範囲：定格電圧の±10%

使用環境温度：0~40℃(DP0105は5~50℃)

使用環境湿度：30~85%(結露状態を除く)

使用圧力範囲：仕様の条件下で意図した運転をするための圧力の限度の範囲

制御について：負荷により力率が変動します。電子部品で制御する場合にはご注意ください。

※作動時の力率は0.25~0.4(LAタイプの一部機種とモータタイプを除く)

コイル絶縁階級	温度限度*
A種	100℃
E種	115℃
B種	125℃

※温度測定は周囲温度条件30℃となっています。従ってこれ以上の条件で使用する場合は、定格時間が短くなりますのでご注意ください。

注)電気用品の認可申請をされる場合にはご相談ください。

コンプレッサについて

ACシリーズ・DAHシリーズ・VCシリーズ・DPシリーズ・リニコン(LC)・ブロー

定格圧力：最高の能力(性能・寿命)が引き出せる圧力値 ※50Hz/60Hzで、ほぼ空気量が一致する点

吐出空気量：定格圧力時の冷機(作動後3分以内)吐出流量

定格運転：定格圧力、定格電圧、定格周波数での運転状態

最高圧力：吐出時の到達圧力(参考)

消費電力：定格圧力で作動している時の入力電力

電流：定格圧力で作動している時の電流(参考)

定格時間：コイル絶縁階級の温度範囲内で使用できる時間

空気量特性図：圧力に対する空気量の特性(参考)

消費電力特性図：圧力に対する消費電力の特性(参考)

保存環境温度：-10~60℃

保存環境湿度：10~90%(結露状態を除く)

使用圧力範囲：仕様の条件下で意図した運転をするための圧力の限度の範囲

真空ポンプについて

VPシリーズ・DVHシリーズ・VCシリーズ・DPシリーズ・リニコン(LV)

到達真空度：ポンプ吸入口を閉じて作動させた時の真空度(一部専用機種を除く) ※本カタログではゲージ圧を採用

吐出空気量：真空度0kPaの時の冷機(作動後3分以内)流量

定格運転：到達真空度の半分の真空度、定格電圧、定格周波数での運転状態

消費電力：到達真空度までの範囲での最大入力電力

電流：到達真空度までの範囲での最大電流(参考)

定格時間：コイル絶縁階級の温度範囲内で使用できる時間

流量特性図：真空度に対する空気量の特性(参考)

消費電力特性図：真空度に対する消費電力の特性(参考)

排気特性図：10Lの容器を真空引きした時の真空度に対する時間特性(参考)

DCモータ駆動ポンプについて

DPシリーズ

使用圧力範囲：仕様の条件下で意図した運転をするための圧力の限度の範囲 注)閉鎖圧力状態からの再起動は不可

吐出空気量：圧力0kPaの時の冷機(作動後3分以内)流量